

富山県朝日町

# 議会だより



第99号

平成30年11月1日



10/20(土) ヒスイテラス竣工式  
【ヒスイ海岸観光交流拠点施設】

## 第4回議会臨時会

■ 朝日町議会組織決定!! 2～3

## 第5回議会定例会

■ 29年度決算、30年度補正予算など 4～5  
■ 代表質問 3名 6～10  
■ 一般質問 6名 11～16  
■ 常任委員長報告 17  
■ 議会日誌 7月～9月 18

《発行編集》

富山県朝日町議会だより編集委員会

〒939-0793

富山県下新川郡朝日町道下1133番地

☎0765-83-1100(代)

# 朝日町議会組織決定!!

去る8月5日に行われた朝日町議会議員選挙の結果を受けて、平成30年第4回議会臨時会が8月29日に開催され、議長、副議長の選挙などが行われ、議会組織が次のように決まりました。

また、人事案件が提案され、原案どおり同意されました。



副議長

水野 仁士



議長

加藤 好進

## 議長就任の挨拶

議長 加藤 好進

このたび、臨時会における議長選挙の結果、朝日町議会第33代議長に就任いたしました。

大変光栄でありますとともに、責務の大きさに身の引き締まる思いであります。

さて、朝日町は、人口減少、少子高齢化という厳しい時代を迎え、町政の発展ならびに住民福祉の向上を図るには執行部と議会が相互に切磋琢磨しながら知恵を出しあうことが求められています。議会が果たす役割は行政の監視機関としての機能はもちろんのことですが、様々な課題を解決するためには、これまでの慣例にとられることなく、より一層の創意工夫と努力を積み重ねながら、必要な政策の提言を行うことも重要と考えます。

私は、議会制民主主義の本旨にのっとり、信頼・期待される議会運営を目指して積極的に取り組んでまいります。

町民の皆様には、今後とも町議会の活動につきまして、ご理解を頂くとともに、様々なお立場からのご指導ならびにご助言を賜りますようお願い申し上げます。皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。議長就任の挨拶といたします。



加藤議長



大井委員



西岡委員



清水副委員長



水野委員長

議会運営委員会  
◎水野 仁士 ○清水 真人  
西岡 良則 大井 光男  
加藤 好進 (オブザーバー)  
(◎委員長 ○副委員長)

# 議会で決まったこと



大久保委員



清水委員



加藤委員



大井副委員長



西岡委員長

総務産業常任委員会  
 ◎西岡 良則 ○大井 光男  
 加藤 好進 清水 真人  
 大久保光太  
 (◎委員長 ○副委員長)



石原委員



道用委員



荒尾委員



寺西副委員長



水野委員長

民生教育常任委員会  
 ◎水野 仁士 ○寺西 泉  
 荒尾 勇二 道用 昭雄  
 石原 孝之  
 (◎委員長 ○副委員長)

新川広域圏事務組合議会議員  
 加藤 好進 西岡 良則

◎清水 真人 ○西岡 良則  
 水野 仁士 加藤 好進  
 大井 光男 荒尾 勇二  
 道用 昭雄 石原 孝之  
 寺西 泉 大久保光太

泊駅南土地区画整理事業  
 特別委員会

◎加藤 好進 ○水野 仁士  
 西岡 良則 大井 光男  
 荒尾 勇二 清水 真人  
 道用 昭雄 石原 孝之  
 寺西 泉 大久保光太

災害対策等特別委員会

◎加藤 好進 ○水野 仁士  
 西岡 良則 大井 光男  
 荒尾 勇二 清水 真人  
 道用 昭雄 石原 孝之  
 寺西 泉 大久保光太

並行在来線等対策特別委員会

◎加藤 好進 ○水野 仁士  
 西岡 良則 大井 光男  
 荒尾 勇二 清水 真人  
 道用 昭雄 石原 孝之  
 寺西 泉 大久保光太

日本海関東首都圏連絡道路  
 構想対策特別委員会

**お知らせ**

朝日町議会議員の会派

- グループ22 (3名)  
 [代表] 西岡 良則  
 加藤 好進 石原 孝之
- 青雲 (3名)  
 [代表] 水野 仁士  
 寺西 泉 大久保光太
- 一歩会 (2名)  
 [代表] 清水 真人  
 道用 昭雄

**人事案件**

○朝日町監査委員を選任するため同意を求める件  
 朝日町平柳148番地  
 西岡 良則氏(70歳)の  
 選任に同意

新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会議員  
 加藤 好進 水野 仁士

新川地域消防組合議会議員  
 加藤 好進 大久保光太  
 (◎委員長 ○副委員長)

## 第5回定例会

### 平成29年度決算、平成30年度補正予算、 条例制定など18案件を認定・可決・承認・答申

平成30年第5回議会定例会は、9月6日から21日までの16日間にわたり開催され、平成29年度決算や平成30年度補正予算、条例制定、人事案件などが審議され、原案のとおり認定・可決・承認・答申されました。

#### 29年度決算

1万円未満切捨て

一般会計（支出済額）	100億7,236万円
特別会計（支出済額）	
国民健康保険会計	15億6,135万円
後期高齢者医療事業会計	4億5,309万円
簡易水道会計	4,430万円
下水道会計	9億6,839万円
公共用地先行取得等事業会計	0万円
奨学資金会計	92万円
病院事業会計（収益的支出）	29億2,832万円

#### 30年度補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

一般会計（補正第4号）	補正総額 9,524万円
国民年金事務費 ・システム改修委託	177万円
子育て支援事業 ・子ども・子育て支援事業計画策定委託費等	177万円
保育所維持管理費 ・旧泊南部保育所解体工事費	745万円
病児・病後児保育事業 ・病児保育室移転改修工事費等	419万円
新エネルギー導入促進事業 ・再生可能エネルギービジョン検討委員会事務費等	64万円
花き園芸作物振興事業 ・1億円産地づくり条件整備事業費	182万円
企業立地奨励事業 ・草野地内工業団地（第3期）整備費用	1,896万円
観光事業 ・ヒスイテラス管理運営費等	440万円
定住サポート事業 ・民間賃貸住宅建設補助費	180万円
宅地分譲事業 ・中道下地内（旧泊南部保育所）宅地造成事業費	4,025万円
図書館運営費 ・（仮称）松倉文庫児童書購入費	100万円
災害復旧事業 ・林道蛭谷線災害復旧工事費	1,117万円
一般会計（補正第5号）	
災害復旧事業 ・湯ノ瀬北又線災害復旧工事費	471万円
特別会計	
国民健康保険会計 ・退職者医療交付金返還金	105万円

#### 30年度専決補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

一般会計（補正第3号）	補正総額 64万円
学校管理費（小学校） ・教員用タイムレコーダー	42万円
学校管理費（中学校） ・教員用タイムレコーダー	21万円

## 第5回定例会審議結果

※議決日は9月21日

議案番号など	件名	審議結果
認定第1号	平成29年度朝日町一般会計歳入歳出決算	原案認定
認定第2号	平成29年度朝日町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第3号	平成29年度朝日町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第4号	平成29年度朝日町簡易水道特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第5号	平成29年度朝日町下水道特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第6号	平成29年度朝日町公共用地先行取得等事業特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第7号	平成29年度朝日町奨学資金特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第8号	平成29年度朝日町病院事業決算	原案認定
議案第61号	平成30年度朝日町一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第62号	平成30年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第63号	朝日町ヒスイ海岸観光交流拠点施設条例制定の件	原案可決
議案第64号	朝日町地域再生法で定める地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例一部改正の件	原案可決
議案第65号	町道路線の認定の件	原案可決
議案第66号	地方自治法第179条による専決処分 の件 専決第10号 平成30年度朝日町一般会計補正予算（第3号）	原案承認
議案第67号	平成30年度朝日町一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第68号	草野地内工業団地整備事業（第2期）造成工事請負契約締結に関する件	原案可決
議案第69号	ヒスイ海岸周辺整備事業観光交流拠点施設新築工事請負契約変更に関する件	原案可決
諮問第2号	人権擁護委員候補者を推薦するための意見を求める件	答申 (原案適当)

## 本会議の採決における賛否一覧

◆賛否が分かれたもののみ掲載しています。

案 件	氏 名										
	大久保 光太	寺西 泉	石原 孝之	道用 昭雄	清水 真人	荒尾 勇二	大井 光男	加藤 好進	西岡 良則	水野 仁士	
議案第61号 平成30年度朝日町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	
議案第69号 ヒスイ海岸周辺整備事業観光交流拠点施設新築工事請負契約変更に関する件	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	

結果賛否 ○…賛成 ×…反対 -…議長は採決に加わりません。

### 議会を傍聴してみませんか！

定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。日程については、議会事務局にお問い合わせください。議会日程のほか、議会のインターネット中継・録画配信も下記URLの町ホームページからご覧いただけます。  
<http://www.town.asahi.toyama.jp/gyosei/gikai/index.html>（トップページ⇒朝日町議会⇒各ページタイトル）

## 今後の企業誘致の方針と展望について

**答** 新たにストック用地を取得し、より積極的に誘致活動を行う



西岡 良則 (グループ22)

**質問** 今年度の9月補正予算には、第3期の企業誘致の用地整備予算が計上されているが、今後の企業誘致に向けての方針と展望や環境整備について伺います。

**答** 市長 ストック用地を確保することによって、今後は企業用地を紹介する各種機関への情報提供や企業立地セミナーでのPR方法を工夫するなど、これまで以上に積極的な活動が展開できるものと考えています。

また、第5次朝日町総合計画において、計画最終年度である平成37年度までに6万㎡を整備する計画としており、第3期用地として約1万8千㎡の用地確保に向けた造成設計の補正予算を今議会に上程させていただいている。

**再質問**

第3期用地を加えて

も総合計画にある目標値6万㎡まであと6千㎡不足するが、今後増加が見込まれる外国人労働者の居住施設を整備するなど、既に確保した用地を含めて有効活用してはどうか。



株式会社アムノス

**再答** 市長 商工観光課長 今一度、企業の皆さんと話をしてみたい。

**答** 国や県へ砂防や治山事業の整備促進を要望している

**質問** 朝日町には、浸水や土石流、地滑り、がけ崩れなどの発生が予想される土砂災害危険区域が178カ所もあるため、ハード面での砂防堰堤の設置など治山・治水の防災対策について尋ねる。

**答** 建設課長 当町においては、国や県への重要要望として砂防事業や治山事業の整備促進をお願いしており、現在、入善土木事務所では南保地区の石谷川、横尾地区の下横尾谷において砂防堰堤の整備に着手されている。

また、岩崎地区内では地滑り防止事業として斜面の補強工事が計画されており、蛭谷地区内においては急傾斜地崩壊対策事業による法面工事が今年度完成したところである。

新川農林振興センターが行っている治山事業では、境地区の大谷地区内、滝川地区内、泊地区の元屋敷地区内において法面保護工事が行われ、笹川地区の亀ヶ口地区内では保

安林管理道の修繕、宮崎地区の明石地区内では排水路が整備されている。

これらの整備については、人家が多い箇所や土砂災害が発生するおそれがある箇所、また避難所などの保全が必要な箇所を最優先に整備は進められているが、未整備の箇所があることから、引き続き国や県に対し要望してまいります。

**再質問** 金額的にも砂防堰堤等がすぐにできないということであれば、溪流付近に監視カメラ等を設置してはどうか。

**再答** 建設課長 溪流の管理は県が行うことになっており、監視カメラ等の設置についても県の方で一つの対策として考えていただいているものと思っています。

**答** 地域おこし協力隊員の活動は任期終了後、継続されるのか  
他の隊員に引き継ぐなど、継続に努める

**質問** 地域おこし協力隊員の任期終了後、隊員が行ってこられた活動は継続されるのか。

また、今後どのような分野で活動される隊員を募集される予定なのか。

# 代表質問

任期終了後に就農を希望される隊員に対しての方策はどのようなか。

**答** 云井 地域振興課長 9月末で3年の任期を終え退任する隊員が実施しているあさひシーサイドドッグランについては、他の隊員に事業を引き継ぎ、来年3月まで運営をすることとしている。4月以降については、改めて、ドッグランの運営だけでなく、オートキャンプ場やパークゴルフ場、サントリーナを活用したレジャー・スポーツイベントの企画立案を行う隊員を新たに募集する予定としている。

いいねか朝日フォトコンテストについても、後輩隊員の中から引き継ぐ隊員を募るなど、事業の継続に努める。

今後の隊員の募集は、介護分野や建設土木分野などさまざまな分野の隊員を幅広く募集し、町にとって有益となる新たな分野を掘り起こし、退任後の就職や起業を見据え、定住につながるよう、募集拡大を進めてまいりたい。

また、任期終了後に就



あさひシーサイドドッグランの様子

農を希望する隊員に対しては、引き続きその地域に居住をし、まずはこれまでどおり研修先の農業法人等で就農していただくことが最良の方法と考えている。

**再質問** 中心街の商店の活性化を図るために、退任後の起業を見据えた募集をしてはどうか。

**再答** 云井 地域振興課長 店の開業を目指す隊員の募集について、担当課や商工会、あるいは関係団体から意見や要望を聞きながら検討してまいりたい。

## 二元代表制について どう考えているか

**答** 議会と独立・対等に、抑制と均衡を保ち町政を運営することと考える



清水 眞人 (一步会)

**質問** 私の疑問は、町長は議員・議会の絶対的与党化を狙っているかのごとき点が多々見受けられることにあります。比較優位で、町長に大事な一票を投じた町民の皆様も、町長に全権を委任したわけではありません。その意味で議会は大変重要な役割を担っています。それらのことを念頭に置いて、謙虚な行政運営をしていただきたいと強く要望します。

そこで、昨年 の 定 例 議 会 に お い ても、憲法第93条に定める二元代表制についてどのように考えているか質問しましたが、再度伺います。

**答** 云井 町長 二元代表制のあり方とは、自治体の首長と議会の議員がともに住民の直接選挙で選ばれ、民意を背景に議会と独立・対

等の関係に立ち、抑制と均衡を保ちつつ地方政治の運営に当たることと考えており、町民のためのより良い町政の実現を目指し、オール朝日町でまちづくりを進めていきたいと考えています。

**答** 遅くとも11月までに議会に提示したい

**質問** 建物は維持管理がきちっと継続されなければ早く駄目になっていく。その観点が今までの行政に非常に欠けています。

公共施設には、少なくとも10年経過をめどに、それ以降どうやっていくのか維持管理計画を作成することを強く要望します。

# 代表質問

中でも、大型公共施設であるサンリーナ、アゼリアホール、らくち~の、なないろKANの4施設の昨年度の利用者数は大まかに、サンリーナ10万5千人、アゼリアホール3万1千人、らくち~の26万人、なないろKAN5万1千人と公共施設の中でも利用者の多い重要施設となっているが、この4施設の維持管理上の補修・修繕計画はその後どうなっているか。

**答弁 企画調整課長 公共施設等総合管理計画に基づき具体的な計画・方向性を検討するため、4施設に対し、10年間を経過期間とし、今後必要な修繕や改修に当たり、維持管理コストの縮減や長寿命化に資する工法選定、修繕の概算費用の算出、ライフサイクルコストの縮減・平準化等の観点から、個別の修繕・長寿命化計画を策定したところであり、財政状況や公債費の償還ピーク、将来負担費用などを考慮した財政シミュレーションを踏まえ、遅くとも11月までに議会に提示したい。**



サンリーナ



らくち~の

**昨年度に発生した消雪設備等の苦情個所への対応は**

**答 散水不良の原因に対し赤川はポンプ交換、ほかは検討中**

## 質問

平成29年度の冬には消雪設備が機能していない箇所が見受けられたが、今冬に不安が残らぬよう、平成29年度に発生した消雪設備に対する苦情個所並びに件数と、対応策と施工された改良工事件数、融雪投棄が原因でザイがついたと苦情があった中小河川・用排水路名と発生件数、対応策あるいは改善工事が施工された件数を伺います。

## 答弁 建設課長

町が管理する消雪設備は総延長約29km、水源は37カ所あり、消雪に対する苦情は、道下、赤川、清水町、若草町地内の4カ所で発生し、いずれも散水不良によるもので機械除雪を実施した。散水不良の原因は井戸の揚水量不足、ポンプの老朽化、配管からの漏水であり、赤川地内ではポンプを交換し、道下地内では交互散水の工事を実施した。他の地内については対策を検討中である。町が管理する中小河川でのザイの発生は、近年伺っていない。管理外の用排水路では、宮

崎、月山、道下、赤川、南保地内の5カ所で発生し、必要に応じ水門操作、砕雪、土のうの設置など対策を講じるとともに、融雪投棄方法など町内会と連絡を取って対応している。



除雪の様子

# 代表質問



## 光ファイバーは未整備地区に 今後整備されていくのか

**答** 民間で整備計画はないが、  
引き続き要望していく



水野仁士(青雲)

**質問** サテライトオフィスの誘致について企業の手応えはどうか。

また、サテライトオフィスの誘致には情報環境の一つである光ファイバー網の充実が必要だが、大家庄地区の新幹線から南側、山崎地区には光ファイバーが入って

いないと聞いている。

町内10地区の均衡ある発展のためにも今後町内の未整備地区に光ファイバーが整備されていくのか尋ねる。

**答弁** 地域振興課長 本社や支社といった通常のオフィスとは別に、郊外や地方に開設するオフィスをサテライトオフィスと呼ぶ。

情報通信技術の進展により、今やパソコン1台さえあれば、地方にいても都心にある本社と同じように仕事ができる。

これまでマッチングイベントに参加し、対面してきた企業のうち、多種多様な業種の10社が来町され、総じて町に好印象を抱いていただいた一方、様々な指摘やアドバイスもいただいたところがある。

サテライトオフィスを考える企業にとって、情報通信回線は最も重要な要素であり、情報処理速度がより速い光ファイバー、いわゆる光回線は、今やなくてはならないものである。

しかし、この光回線については、民間電話会社により市街地を中心に整備されているが、一部の地域では整備されていないのが現状であり、町全域での整備は今のところ計画がないと伺っている。

町としては、サテライトオフィス誘致に限らず、町内のどこに住んでいても誰もが同じ恩恵が得られるべきと考えており、町全域での整備について支援がなされるよう、今後も全国町村会などを通じながら国や県に対して粘り強く働きかけをしてまいりたい。

## 今後の公債費の償還ピークと 将来負担比率はどうなるか

**答** 償還のピークは平成34年・35年頃、将来負担比率は健全な数値を維持

**質問** 平成29年度決算において実質公債費比率は10・9%であり、早期健全化基準の25%や国の許可が必要となる18%を下回っている。実質公債費比率より大切な

将来負担比率は将来負担すべき額がマイナスなためバー表示であるが、この率が例えば150%以上になると財政がおかしくなると私は判断している。

平成29年度の決算審査報告では、図書館、五差路周辺複合施設の元金償還が平成29年度より始まり、今後ますます公債費が増大すると予想しているが、今後の償還のピークを迎えるのはいつ頃であり、基準に対して実質公債費比率はどのくらいになるのか。また、将来負担比率はどうなると予想されているか。

**答弁** 財務課長 地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための指標として健全化判断比率があるが、平成29年度決算では、一般会計単体と、一般会計と特別会計の連結ともに赤字額や資金不足額は生じていないので、実質赤字比率、連結実質赤字比率ともにバー表示となっている。

また、実質公債費比率についても10・9%と、起債を受ける際に県知事の許可が必要となる18%を大きく下回っているところであり、将来負担比率についても、将来負担額である地方債の現在高や病院等への繰入見込額等よりも、

基金残高や交付税措置される充当財源等の方が上回ることから、将来負担すべき額がマイナスとなり、将来負担比率も生じていない状況となっております。県下的にも健全な財政運営を行っている市町村の一つであると認識している。

償還のピークについては、今後の起債の借り入れなどの状況にもよるが、主な過疎対策事業の償還期間が12年であることから、平成22年度からの償還が積み重なる平成34年・35年頃で、実質公債費比率も償還金が増加傾向にあることから、現在よりも高く推移していくものと見込んでいるところである。将来負担比率については、今後も健全な数値を維持していくものと見込んでいるところである。

今後は歳入の自主財源の柱である町税において、企業誘致等により増収が見込まれるが、当面の間は人口減少等による町税の伸び悩みが見込まれること、また歳出面において償還に伴う公債費の増加、既存公共施設の維持管理や長寿命化を含めた更新費用などが見込まれ、町債などの依存財源への比重が高まるものと考えている。

このようなことから、引き続き健全財政を維持し、これまで以上に税収や交付税制度の動向などを

注視し、将来展望を十分踏まえた事業の取捨選択や平準化を図るとともに有利な財源の確保に努めてまいりたい。併せて、健全化指標に大きく影響を与える起債の抑制にも努め、財政の健全化を推進してまいりたい。

### ◎健全化判断比率とは…

地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための指標であり、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率がある。

### ◎実質赤字比率とは…

標準財政規模に対する、一般会計等の実質赤字の割合。

### ◎連結実質赤字比率とは…

標準財政規模に対する、一般会計等に特別会計も含めたもの実質赤字の割合。

### ◎実質公債費比率とは…

標準財政規模に対する、借金の返済や借金返済のための特別会計への負担金の割合。

### ◎将来負担比率とは…

標準財政規模に対する、将来負担すべき負債の残高から基金の残高等を差引きした額の割合。

### ◎標準財政規模とは…

地方公共団体の一般財源の標準的な大きさを示すものであり、町税や普通交付税等の合算額。

## 本文に掲載した記事以外の質問

### ◆西岡良則 議員

- 町政の運営について
- ヒスイ海岸観光交流拠点施設の整備について
- 安全、安心なまちづくりについて
- 火災や水難事故における救急車の緊急出動について
- 都市計画の推進について
- 泊駅南土地区画整理事業について

### ◆清水眞人 議員

- 雪害対策について
- 対策の現状について
- 空き家対策について
- 30年度実施の空き家実態調査について
- 空き家対策特別措置法について
- 相続放棄された空き家について

### ◆水野仁士 議員

- 若者の定住対策・移住定住の推進について
- サテライトオフィスの誘致について
- 財政健全化の推進について
- 公共施設のあり方検討委員会について
- 安心安全な町づくりについて
- 再生可能エネルギーの活用について
- 地域防災力を高めるためにについて
- 観光資源の活用について
- 湯ノ瀬北又周辺環境整備について

### ◆大井光男 議員

- ねんりんピック富山2018について
- 朝日町開催のビーチボール交流大会について

### ◆荒尾第一 議員

- 企業誘致について
- 企業誘致のために新たに土地をストックする必要があるのか
- 企業進出の問い合わせは1年間でどれほどあるのか
- ポエック株式会社の事業概要と工場建設、操業までの計画はどうなっているのか
- 町財政の運営について
- 町民の利便性や住民福祉を重視した財政運営をしなければならぬのではないのか
- 住民福祉とサービスの充実について
- あさひまちバス運行について
- 県内外からの視察が多い理由は何か
- 少子高齢化が進む中で、あさひまちバスの改善点はないか
- 高齢者や子どもたちが低額で飲食店を利用できる制度をつくってはどうか

### ◆寺西泉 議員

- 教員の働き方改革について
- 勤務時間管理について
- 教員OB等の任用について

### ◆大久保光太 議員

- 農地事業について
- 大区画圃場整備事業について
- 水稻営農の活性化について
- 新規需要米と新品種主食用米(富富富)の生産拡大について

### ◆石原孝之 議員

- 泊高校統合再編について
- 適正な教員の配置について
- 冬季の除雪について
- 通学路における朝夕の歩道の確保について

# 一般質問

## 破産した会社の滞納金について

**答** 特定の個人・法人の税については  
守秘義務があり答えられない



大井 光 男

**質問** 破産手続きが開始され、倒産した会社の整理に破産管財人が当たっておられるが、現時点はどうのようになっていくのか。滞納金はいくらあるのか。

**答弁** 財務課長 特定の個人・法人を対象とした税に関わるものは、地方公務員法及び地方税法による守秘義務がありお話しできない。

**再質問** 破産管財人が手を引いた物件でも守秘義務なのか。不納欠損処分はどのようにになっているのか。

**再答弁** 財務課長 個々の案件は答弁できないが、不納欠損処分は納税者死亡、行方不明、生活保護、破産・倒産などを事由に未納のまま5年を経過したもののや、滞納処分ができる財産がなく執行停

止を行って3年経過した場合に処分を行っている。

### 農業者宿泊研修施設の概要は

**答** 朝日町での就農希望者の  
研修所兼居住施設となる

**質問** 農業者宿泊研修施設の概要について尋ねる。

**答弁** 農林水産課長 全体事業費は2億5,300万円です。造成工事を初め、木造2階建て宿泊棟、木造平屋建て研修棟、倉庫2棟の整備のほか、外構工事を予定し3月末の完成を目指している。

**再質問** 施設の維持管理はどうするのか。研修者は何人で期間は何年を見込むのか。

**再答弁** 農林水産課長 建物の

保険料や研修棟の管理費用は町で支払い、宿泊棟は部屋代、光熱水費、共益費を研修生が負担する。

研修者は8人までで2年または3年の研修期間とし、その後は町内の農家で農業従事者として就農していただく。

**再質問** 応募された希望者の面接、その後の研修の講師はどのように考えているのか。

**再答弁** 農林水産課長 募集に際しては朝日町で就農するという意欲のある人を最優先する。

研修は、当面は県の農林振興センターや農業技術課、農協さんの職員などを講師として行いたい。

**再質問** 26坪大型格納倉庫、コンバイン、田植え機、トラクターなどの整備を考えておられるが、耕作面積はどのくらいか。

**再答弁** 農林水産課長 実習田は9反歩を見込んでいます。

**再質問** この施設で大学などと作物等の共同研究をしようかどうか。また農閑期の1月から3月までの農業用ハウスを利用した農業を考えると、再生可能エネルギーを考える必要がある。

提案ですが、県・射水市・大学等で共同研究されている籾殻を再利用して熱エネルギーを得る方法を冬期間の農業用ハウスに利用し

ではどうか。近隣施設と共に、観光農園化や農業の拠点施設として是非広げていただきたい。

**再答弁** 農林水産課長 いろんな周辺公共施設もあり、複合的に利用するという考え方は非常にいい考え方であり、利用方法はいろいろと考えてみたいと思っています。



農業者宿泊研修施設 (予定) 研修棟 (左) 宿泊棟 (右)

## 公共施設の相次ぐ建設が 財政規模を大きくしてい るのではないか

**答** 拡大傾向にあるが、財政分析を  
行いながら適切に実施している



荒尾 勇二

### 質問

町財政は平成29年度の歳入歳出決算が百億円を超えている。そして同時に町債や公債費の財政に占める割合が大きくなっていく。実質公債費比率は10・9%であり健全だというが、この数値も大きくなっていく。平成29年度という時点の数値で健全性を判断することは正しいのか。その他の財政に関する指数や町政のあり方を検討しなければならないのではないか。

また、この数年間に五差路周辺複合施設、消防署、まちなか体育館、ヒスイ海岸観光交流拠点施設など公共施設が相次いで建設されてきた。また、医療関係者向けのアパートや医師住宅の建設も行われてきた。これらの中には必要不可欠なものもあるが、町民の目か

ら見てほんとうに必要なのかと疑問視されているものもある。こうした施設建設ラッシュが財政規模を膨らませているのではないか。



五叉路クロスファイブ

### 答弁 財務課長

県下でも健全な財政運営を行っている市町村の一つであると認識している。

地方公共団体の財政状況を客観的にあらわす指標として四つの指標があるが、いずれも健全な数値を示している。将来的な財政状況についても、新たな事業計画が生じたときなど、その都度把握できる最新の数値に基づくシミュレーションを行い、財政分析を行っている。

財政規模について、大型公共施設の建設等により投資的経費が増加しており、町債発行額の増加や、各事業の実施に伴う起債の償還により公債費も増加していることから、財政規模も拡大傾向にある。しかし、こうした事業は、住民福祉の向上や地域の活性化、安全・安心な町づくりの推進に寄与するものであり、やみくもに実施しているものではない。

### 再質問

実質公債費比率は3年間のものを平均した数値だ。単年度ではどうなっているのか。また、財政力指数は0・33と下がり続けていることは見過ごせな



図書館

い。そして、公債残高は増え続けている。町民の目から見れば、返済しても公債残高が増えてくれば、これでいいのかわからないこととなる。各公共施設の借金返済状況についても一覧はないか。

### 再答弁 財務課長

平成29年度の単年度の実質公債費比率は13・2%だ。それぞれの施設の返済計画は当然持っている。それを積み上げたものがこれらの数字で出てくるもので、個々の数字はある。

# 一般質問

## 教員の働き方改革に 対する当局の考えは

### 答 子どもたちへの教育環境を整えるため 今後も教員の多忙化解消に取り組む



寺西 泉

**質問** 教員の働き方改革を推進するため、県と町で重複した内容の研修の整理・精選を行い、教員全員が参加しなくてはならない必修研修を必要最小限に絞ることが必要であると思うが、当局の考えはどうか。

**答弁** 教育委員会事務局長 今後の研修については、必要なものは受講しながらも、教員の働き方改革を念頭に、より効率的・効果的な研修となるよう努めてまいりたい。

**再質問** 教員の働き方改革を推進することは、限られた時間の中で教師の専門性を生かす授業やその準備に集中できる時間、教師自らの専門性を高めるための研修の時間や子どもと向き合う時間を確保するのに大変有効である。このことが教育活動の質を高め、結果

的には子どもたちに対してよりよい教育活動が提供されると確信している。さらには、いじめ、不登校等の減少や学力向上にも繋がると考えるが、教育長の考えはどうか。

**再答弁** 教育長 教員の働き方改革はなぜ必要なのか。誰のための改革なのか。事の本質をしっかりと理解しながら進めることが肝要である。教員が心身ともに充実した状態の中で、目の前の子どもとしっかり向き合い指導できる教育環境をつくるのが学校教育の充実に繋がるものであり、この改革の本旨である。このことについて、保護者を初め社会の皆様方と心を一つにして取り組んでいくことが成功の鍵を握っている。

教員にはさまざまな技量が求められており、それに伴って自己研修も欠かせない。あれもしてやり

たい、これもしてやりたいという純粋な先生方の気持ちがこの多忙化を自ら招いているということも忘れてはならない。  
朝日町は先生方が本当にゆとりを持って子どもたち一人一人にきめ細かに指導できる、素晴らしい教育の町であるということを中心に、先生方の多忙化解消に向けてしっかりと取り組んでいきたい。

### 第2期朝日町再生会議の今後の予定は

**答** 11月の提言発表後、有用な提言を来年度予算に反映させていきたい

**質問** 提言書はいつ提出され、今後どのように活用していく予定か、第2期朝日町再生会議の今後の予定を尋ねる。

**答弁** 企画調整課長 第2期再生会議は、これまで講演会や中間発表会も含めて12回の会議を開催してきており、その集大成として、11月25日、五叉路クロスファイブにて提言事業発表会を開催する。現在、各班では、空き家を活用した多様な仕事の提案、SNSを用いた若者向けの情報発信、地域との繋がりを生かした子育て支援策などといった具体的事業案

が議論されており、発表会では、委員によるプレゼンテーションを行う。

発表会の当日は、「関係人口」という概念の提唱者である、若者向け月刊誌「ソトコト」の指出一正編集長を講師に招き、提言事業発表会への講評及び基調講演を行う。事業案の中には、関係人口の創出に関連した内容も盛り込まれる予定であり、「関係人口」のキーワードからの提言と講演会がストーリー性のある企画となるものと考えている。

提案された事業案の中で町施策に有用なもの、今後、町として取り組むべき施策に関連させることができるものについては、平成31年度当初予算に積極的に反映させていきたい。



再生会議  
(五叉路クロスファイブにて)

## 泊高校の跡地について 今後の県との交渉内容は



道用 昭雄

**答** 跡地利活用検討委員会を立ち上げる準備中のため、これからの話となる

**質問** 泊高校の跡地利活用検討委員会の組織人数及び構成員はどのようなものか。

**答** 総務政策課長 全体で15

人前後の組織で、町づくりの専門家や学識経験者、地元出身の大学教授、町民の各代表に加え、オブザーバーとして県の職員にも参画いただく形を考えている。

**再質問** 前期高校再編された5校の跡地利利用の実態はどうだったか。また、どれくらいの時間がかったか。

**再答** 総務政策課長 閉校し

た5校のうち、大沢野工業高校と二上工業高校には県立の高等特別支援学校が1年後に設置されたが、跡地利活用されたほか3校については、海洋高校の跡地に日医工スポーツアカデミーがオープン、



泊高校

有磯高校の跡地に氷見市役所の新庁舎が整備され、最も遅かった井波高校の跡地では南砺市地域包括ケアセンターが整備され平成29年1月にオープンするまで、再編統合決定から8年間かかっている。

**再質問** 泊高校の跡地について今後の県との交渉の内容はどうなのか。

**再答** 町長 町長として動いたというのではなく、応援を依頼されたため、ルールに基づいて粛々と対応したつもりである。

**再質問** 町長にも尋ねる。

**再答** 町長 町長として動く

二元代表制と町長の議会に対する考え方について尋ねる

**答** 互いに独立・対等という二元代表制における議会との関係を尊重している

**質問** 二元代表制と町長の議会に対する考え方について尋ねる。



制については、憲法第93条に基づく地方行政の根幹であり、自治体の首長と議会議員がともに住民の直接選挙で選ばれ、首長が民意を背景に議会と独立・対等の関係に立ち、抑制と均衡を保ちつつ地方の政治の運営に当たることが、そのあり方であると考えている。

**再質問** 町長は、権力者ではなく良き指導者になりたいと言う一方、平成27年11月15日の時事通信の「地方行政」の中で、議員の中には自らの意思で民意の反映がでない方が少なからずおられることも事実という議会軽視とされる発言をしており、行動が違っているのではと思うが。

**再答** 副町長 時事通信「地方行政」の記事は、町長が二元代表制における議会の立場を十二分に尊重し、重く見るがゆえの、議会を構成される議員お一人お一人への期待やエールではなかったかと思っ

## 意欲あふれる農業者に 対する町の支援について

### 答 農業機械導入費用を補助しており 今後も担い手育成を支援する



大久保 光 太

**質問** 日本国内における生産農業従事者の高齢化と就業人口の減少は、朝日町においても同様の傾向であり、考えられる原因は色々あるが、その一つに若い人が担い手としての魅力を感じにくくなっていることがあるのではないかと。

そこで、朝日町における農業環境の現状と、意欲あふれる農業者に対する町の支援などについて伺う。

**答** 農林水産課長 担い手の確保は喫緊の課題であると考え、農業後継者育成の事業を行ってきたところである。

長期対策として農業と農村地域の活性化や定住による後継者育成を目的に地域おこし協力隊員を委嘱し、町内の担い手農家で研修を

行っており、実績としては、平成28年度より合計6名を受け入れており、そのうち5名が現在も農業に従事している。

短期対策として、大学生が農家に宿泊しながら農業体験を行う農業インターンシップを平成28年度より実施し、学生には農業の実態を感じていただくとともに、朝日町における農業の魅力や課題に対して提案をいただいております。参加人数は初年度が3名、翌年度が9名、今年度が11名と年々増えています。

意欲あふれる農業者に対する支援については、経営規模を拡大するには、さらなる機械導入等が必要となることから、新規担い手農業者が導入する農業機械の購入に対し支援を行っているところであ

り、国が農業機械等導入に関する事業費の3割を補助するところに、平成28年度より、町単独事業として2割を上乗せし、5割補助とすることで新規担い手農業者の負担軽減を図っている。

町としては、今後も担い手の確保と育成に力を入れていきたい。



意欲あふれる農業者

### 農業者宿泊研修施設での研修 内容は新技術を学べるものか

**答** 現段階でスマート農業に対応した研修は考えていない

### 質問

朝日町の農業後継者育成

対策事業の一環で農業者宿泊研修施設の新設工事が始まっているが、現在の進捗状況と今後の計画工程はどのようなものか。

また、農業の新技術を導入しながら学んでいける環境を整備していく考えはあるのか。

**答** 農林水産課長 現在、造成工事を行っており、今後、建築工事について設計ができ次第入札を実施し、契約案件として上程させていきたいと考えており、平成30年度末の完成を目指している。

研修内容等については、農業関連団体等で構成される検討委員会で協議中であるが、最先端技術を駆使したスマート農業に対応した研修は現段階ではまだ考えておらず、座学による町内農業者を含めた公開講座などを検討していきたい。

**再質問** 研修生の採用面接等は役場の方で行うのか、生産者等を含めた方々で行うのか、現段階でどのように考えているか。

**再答** 農林水産課長 指導いただく農業者はもちろん、地域おこし協力隊の先輩方、町の職員といった複数で当人とお話をしながら面接をしていきたいと考えている。

## 富山県総合教育会議の

## 県立高校再編（素案）を

## どう受け止めているか



石原孝之

**答** 県に要望し続けてきたことに一定の成果があったと捉えている

**質問** 富山県総合教育会議における県立高校再編（素案）では、

新高校の学科構成や教育内容等については、再編統合の対象となる学校の歴史や伝統、役割、地域のニーズ等を踏まえ、特色ある学科やコース、部活動を引き継ぐ方向で検討を進めるとあり、学科構成については、2年次から観光ビジネスコースを開設し、特色のある部活動としてはアーチェリー部、柔道部、陸上部などを設置するとある。

町として、この素案をどう受け止め、今後どのような働きかけを行っていくのか。

**答** 総務政策課長 富山県総合教育会議で示された県立高校再編の実施計画（素案）において、泊

高校の観光ビジネスコースやアーチェリー部など特色ある学科やコー

ス、部活動を新高校に継承することについては、これまで町があらゆる機会を通じ県に対し要望し、訴え続けてきたことに対する一定の成果があったものと捉えている。

**泊** 高校生の高校生活が有意義になるよう町のさらなる支援は

**答** 最後の卒業生まで生徒の気持ちに沿った支援を講じる

**質問** 泊高校では来年度入学する生徒が3年生になる時には生徒

は3年生だけの1学年となる。

そのため部活動や体育大会などの各種行事については支障が出るほか、卒業式においても3年生だけの状況となる。

泊高校生が高校生活を有意義に過ごせるように、町としてのさら

なる支援はあるか。

**答** 総務政策課長

町では、泊高校後援会に100万円の補助や海外派遣研修事業補助金、中高連携推進事業を支援している。また、部活動ではアーチェリー部強化のために地域おこし協力隊を募集し、今年度より指導を行っている。

今後、これらの泊高校への支援はもとより、泊高校を卒業してよかったと感じ、将来、泊高校で過ごした3年間で素晴らしい思い出となり、記念となるような支援も必要であると考えている。泊高校やPTA、同窓会からの意見・要望を踏まえ、最後の卒業生まで生徒の気持ちに沿った支援を講じてまいりたい。

**再質問**

泊高校の今後に関して事実と異なる噂があるようだが、このような間違った情報に対し正しい情報発信をしていただきたい。町はどう対応されるか。

**再答** 町長

議会中継をテレビで視聴される方々、家族の皆様方、在校生の皆様方に対して、最後までしっかりと町として支援をしていくことを約束する。また、新高校でアーチェリー部の練習場がどこに作られるか未だ決まっていない問題やその支援対策においても、当然町の立場として

さまざまな機関とも連携を保ちながら、何より子どもたち、生徒のためにしっかりと取り組み、支えることを約束する。

**冬** 期間の各地区の小型シヨベルの配備状況と追加配備の考えは

**答** 5地区に12台貸し出し、要望があれば追加も検討する

**質問**

各地区に小型シヨベルや手押し式のロータリー除雪車を配備しているが、どのような配備状況になっているのか。大雪の場合、小型シヨベルの使用が集中し使えない状況になることが考えられるが、小型シヨベルなどの追加配備を行う考えはあるのか。

**答** 建設課長

朝日町の道路除雪実施計画では、全ての道路を町で除雪することが困難なため、生活道除排雪の推進として小型シヨベルは5地区に12台、手押し式のロータリー除雪車は8地区に12台を貸し出している。

昨年度に引き続き今年度においても小型シヨベルを1台更新する予定としているが、地区からの要望により、真に小型シヨベルが必要であるとなれば、更新前の年式の古い機械になるが、追加配備の検討をしたいと考えている。

# 常任委員長報告

## 常任委員長報告

### 総務産業委員会

当委員会は9月19日午前9時から開催し、議会から付託されました、

- 認定第1号 平成29年度朝日町一般会計歳入歳出決算
- 認定第4号 平成29年度朝日町簡易水道特別会計歳入歳出決算
- 認定第5号 平成29年度朝日町下水道特別会計歳入歳出決算
- 認定第6号 平成29年度朝日町公共用地先行取得等事業特別会計歳入歳出決算
- 議案第61号 平成30年度朝日町一般会計補正予算(第4号)
- 議案第63号 朝日町ヒスイ海岸観光交流拠点施設条例制定の件
- 議案第64号 朝日町地域再生法で定める地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例一部改正の件
- 議案第65号 町道路線の認定の件

以上、8案件を慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり認定・可決すべきものと決しました。

なお、審査の過程において、次の要望、意見がありました。

・今後、人口減少に伴い、町税の減収も予想されることから、将来の朝日町のあり方を見据えた財政運営にあたらねたい。

### 民生教育委員会

当委員会は9月18日午前9時から開催し、議会から付託されました、

- 認定第1号 平成29年度朝日町一般会計歳入歳出決算
- 認定第2号 平成29年度朝日町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 認定第3号 平成29年度朝日町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算

○認定第7号 平成29年度朝日町奨学資金特別会計歳入歳出決算

○認定第8号 平成29年度朝日町病院事業決算

- 議案第61号 平成30年度朝日町一般会計補正予算(第4号)
- 議案第62号 平成30年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第66号 地方自治法第179条による専決処分の特例の件

専決第10号 平成30年度朝日町一般会計補正予算(第3号)

以上、8案件を慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり認定・可決・承認すべきものと決しました。



# 議会日誌

## 七月

13日 全員協議会  
議員協議会

23日 朝日・魚津間林道建設促進協議会総会（魚津市）

朝日滑川間国道・バイパス建設促進期成同盟会総会（魚津市）

東部山麓道路建設促進期成同盟会総会（魚津市）

北アルプス横断道路構想推進会議（魚津市）

24日 議会だより編集委員会

魚津・朝日間湾岸道路建設促進期成同盟会総会（入善町）  
新下川海岸整備事業促進議員連盟総会（入善町）

## 八月

20日 黒部朝日公園線改良促進期成同盟会総会（黒部市）

29日 朝日宇奈月線建設促進期成同盟会総会（黒部市）  
議員協議会

31日 第4回議会臨時会本会議  
全員協議会  
議員協議会  
議会運営委員会

## 九月

3日 町村議会議長会臨時総会（富山市）

6日 第5回議会定例会本会議（提案理由説明・細部説明・質疑）

10日 議会運営委員会

13日 本会議（代表・一般質問）

14日 本会議（一般質問）

18日 民生教育常任委員会

19日 総務産業常任委員会

21日 議会運営委員会

本会議（委員長報告・討論・採決）  
全員協議会  
議員協議会

項目	H30. 7. 1～9. 30		H30年度累計	
	件数	支出金額(円)	件数	支出金額(円)
祝儀・寸志	5	75,000	13	154,264
香典・生花・見舞	1	10,000	3	25,000
土産・贈答	1	4,720	1	4,720
負担金・会費	3	19,000	7	56,000
懇談会	0	0	0	0
賤別・激励・協賛金	1	5,000	3	15,000
その他	0	0	0	0
合計	11	113,720	27	254,984

議長交際費を公開します



## 編集 後記



今年には記録的な猛暑に加え、相次ぐ豪雨、台風、地震災害により多くの尊い命が失われるなど、全国各地で甚大な被害が出ました。朝日町には、県が指定する土砂災害危険区域が178カ所もあり、町民の生命・財産を守るためにも、万全の対策を講ずる必要があります。

第5回朝日町議会9月定例会は、8月の議会議員選挙後初めての議会でありましたが、新人議員もそれぞれ教員の働き方改革、農業の担い手育成、県立高校再編などの問題点をとりこえ、自らの経験をもとにした爽やかで明瞭な質問は、議会に新風をもたらしてくれたのではないでしょう。

町は人口減少など多くの課題を抱えています。活力ある朝日町実現に向け、新人、ベテランを問わず議会側からアイデア、知恵、工夫など建設的な意見や提案をし、町の発展に繋がっていかねばなりません。（西岡）

### ◆議会だより編集委員

西岡 良則 加藤 好進  
水野 仁士 寺西 泉  
荒尾 勇二